

## 区自治協議会提案事業 事業評価書 (案)

## 北区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	北区みんなで見守り隊 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	北区では、地域の方々を中心として、登下校中の子どもたちや支援が必要な高齢者等、様々な見守り活動が積極的に行われている。 見守りを行う各団体では、独自のノウハウや実践的なアイデアを持っており、見守りの対象が異なる活動でも互いにヒントになるものがあると思われる。そこで、「見守り」をキーワードに共通項を見出す機会として、フォーラムを開催し、見守り活動を行っている多数の人・団体の情報共有を図る。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	北区みんなで見守り隊フォーラム ・日時 11月27日 13:00～15:50 ・会場 新潟市北区文化会館ホール ・参加 185人 ・内容 第1部 基調講演 ①三流亭楽々さん ②中野妙さん 第2部 事例発表 ①葛塚わんわんパトロール隊 ②北区民生委員・児童委員協議会 ③ナミックス株式会社・株式会社竹中工務店 第3部 意見交換 パネルディスカッション(「みんなで支え合う地域づくり」について)  当日会場集めた意見(付箋300枚以上)を分類及びキーワード化し、活動の評価と課題を洗い出し記録集を作成。今後の方向性をスローガン化して発信した。
事業の評価  <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	市民生活に直接的に関わる「見守り」を主題に据え、また参加者を限定しないフォーラム形式で多様な団体等に参加してもらうことができた。  <アンケート結果>アンケート回収122人・回収率65.9%。 ・基調講演・事例発表・パネルディスカッションいずれも高評価を得た。 ・主な感想 今後の自活動に反映できることを期待する。 多角的な視点を学ぶ機会になった。  北区の「見守り」の特徴を、地域や企業をはじめ、多様な団体それぞれが自主的に活動を展開しているところに見出し、地域課題として、団体間の”ヨコ”のつながりが希薄になっている点を抽出。より気軽に多くの団体や区民に参加してもらいながらも、しかし、より深く見守り活動への意識を啓発できる機会とするため、フォーラム形式を基本とした企画が立案された。地域や対象の枠を超えた北区全体としての「見守り」とは何か、明確な定義づけが難しいこの企画を具体化すべく、検討段階から活発な議論が行われた。委員からの多様な意見があり、合意形成のもと、事業が実現した。 当日集まった意見(付箋)をもとに担当部会でフィードバックを実施し、当事業の総括と今後の方向性をスローガン化した記録集(ヒント集)を作成した。地域のなかで容易に共有また還元できる成果品となり、一定程度の効率性が認められる。
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	生きる力・支えあう子育て事業 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p>①全てのママ・パパ応援プロジェクト 乳幼児の育成環境を改善のため、子育てに大事なことをまとめたテキストを作成、配布し、区内全ての乳幼児の保護者が学ぶ機会を設ける。</p> <p>②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業 新潟医療福祉大学学生が家庭介護セミナーを開催。学生と地域の繋がりを深めながら、支え合いの機運を高め、地域の活性化へと結びつける。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>①全てのママ・パパ応援プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行形態 A5判 16頁 中綴じ製本 フルカラー(4色刷り)</li> <li>・内容 「ママとパパへ」と「ママとパパを応援する全ての人へ」の2部構成とした。どちらもマンガから始まり、手に取りやすく、読まれやすい作りとした。「ママとパパへ」では、ほめることの効果、話しの聞き方など子育ての際に大事なことをまとめた。「ママとパパを応援する全ての人へ」では、ママとパパが悲しくなること、嬉しくなることなどを具体的に列記した。</li> <li>・こんにちは赤ちゃん訪問事業での配付の際は、ケース付き</li> <li>・作成部数 10,000部 同事業での配付のほか、区内保育園・こども園・幼稚園などを通じて配付 子育て支援センター、児童館、児童センター、図書館などの各公共施設に設置</li> <li>・アンケート回収(帯で案内し、ネット回答)</li> </ul> <p>②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟医療福祉大学学生による家庭介護セミナー開催(全回同一内容)</li> <li>1. 9/21(土)豊栄健康センター 参加者 10人</li> <li>2. 10/12(土)北地区コミュニティセンター 参加者 6人(台風19号の影響で人数減)</li> <li>3. 11/16(土)長浦コミュニティセンター 参加者 14人</li> <li>・学生たちが講師となり、衣服の着替えのお手伝いの実習のほか、レクリエーション、茶話会など交流を行った。</li> <li>・小林委員が日頃の学習知識を活かし、講師として活躍。</li> </ul>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価 など)</small>	<p>①全てのママ・パパ応援プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果 この冊子が子育てに役立つと思うかの問いに、大いに思う、思うが合わせて92% 【ご意見・感想より】 まさに悩んでいることが書いてあった。／一人で悩まなくてもいい、「みんなで育児」が心に響いた。／気持ちが楽になった。／漫画により興味が持てた。／家族全員向けがいい。／妻の気持ちが分かった気がする。／お母さんだって休んで良いと言われた気がした。／コンパクトに大切なことがまとまっている。／祖父母に読んでもらいたい。／困ったら相談しようと思った。／など</li> <li>・木崎小学校から先生たちに役立つと、職員用としての送付要望があった。</li> <li>・民間事業者から子育て中の社員向け冊子に一部転載させてほしいとの要望があった。</li> <li>・保護者へ家庭教育の大切さを伝えるだけでなく、北区に子育て応援の輪を広げるという目的は達せられたと思われる。</li> </ul> <p>②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟医療福祉大学で学ぶ学生が、自ら学習した知識や技能を活かし、家庭介護セミナーを開催。学生は発表の場を持ち、参加者は家庭でできる介護の技術を知ることができた。</li> <li>・茶話会の中で、学生は直接参加者の感想を聞くことができた。</li> <li>・学生と地域の繋がりが深まり、支え合いの機運を高めることができた。</li> <li>・令和2年度以降、特色ある区づくり事業(区企画事業)で継続することとなった。</li> </ul>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区分	内容																								
<p>テーマ・事業名</p>	<p>潤いの福島潟創出事業 【事業費予算 1,000千円】</p>																								
<p>事業目的・概要</p>	<p>北区の潟の魅力を広く発信し区民の理解を深めるとともに、福島潟のラムサール条約登録推進に向け、広く周知を図る。</p>																								
<p>事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)</p>	<p>① 「潟ツーリズム研修会」への参加          &lt;第1回&gt;          日にち 7月17日(水)          場 所 水の駅「ビュー福島潟」          テーマ ラムサール条約を活用した持続可能な地域づくりについて          &lt;第2回&gt;          日にち 2月13日(木)          場 所 阿賀野市コミュニティセンター 瓢湖憩の家          テーマ エコツーリズムの手法を用いたまちづくりについて</p> <p>② 啓発パネル巡回展示、パンフレット配布</p> <table border="1" data-bbox="480 987 1398 1227"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月1日～6月28日</td> <td>ビュー福島潟 6階展望ホール</td> <td>菜の花時期、GW</td> </tr> <tr> <td>6月29日～7月10日</td> <td>北区文化会館 ロビー</td> <td>7/1 自治協研修会</td> </tr> <tr> <td>7月10日～11月6日</td> <td>ビュー福島潟 6階展望ホール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月23日</td> <td>ビュー福島潟 6階展望ホール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月7日～12月26日</td> <td>葛塚コミセン 1階ロビー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1月1日</td> <td>豊栄南運動公園屋内GB場</td> <td>北区元旦歩こう会(参加者数533人)</td> </tr> <tr> <td>1月10日～3月末</td> <td>木崎コミセン ロビー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※各施設 平均来館者数          ・ビュー福島潟 1,896人/月(有料エリア) ・北区文化会館ロビー 2,535人/月(6～7月)          ・葛塚コミセン 2,943人/月 ・木崎コミセン 1,036人/月</p> <p>③ 第12回北区ふゆっこまつりでのPRブース出展 (中止)          日 時 2月23日(日)          場 所 新潟医療福祉大学          内 容 啓発パネルの展示、パンフレットの配布、啓発缶バッジ作成体験コーナー</p>	期間	場所	備考	4月1日～6月28日	ビュー福島潟 6階展望ホール	菜の花時期、GW	6月29日～7月10日	北区文化会館 ロビー	7/1 自治協研修会	7月10日～11月6日	ビュー福島潟 6階展望ホール		9月23日	ビュー福島潟 6階展望ホール		11月7日～12月26日	葛塚コミセン 1階ロビー		1月1日	豊栄南運動公園屋内GB場	北区元旦歩こう会(参加者数533人)	1月10日～3月末	木崎コミセン ロビー	
期間	場所	備考																							
4月1日～6月28日	ビュー福島潟 6階展望ホール	菜の花時期、GW																							
6月29日～7月10日	北区文化会館 ロビー	7/1 自治協研修会																							
7月10日～11月6日	ビュー福島潟 6階展望ホール																								
9月23日	ビュー福島潟 6階展望ホール																								
11月7日～12月26日	葛塚コミセン 1階ロビー																								
1月1日	豊栄南運動公園屋内GB場	北区元旦歩こう会(参加者数533人)																							
1月10日～3月末	木崎コミセン ロビー																								
<p>事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</p>	<p>① 「潟ツーリズム研修会」への参加          ラムサール条約湿地の「瓢湖」及び環境省選定ラムサール条約湿地潜在候補地の「福島潟」を観光資源として有効活用を図り、交流人口の拡大を目指す「潟ツーリズム」について情報共有することで、ラムサール条約についての理解を深めることができた。</p> <p>② 啓発パネル巡回展示、パンフレット配布          平成30年度に作製した、ラムサール条約登録啓発パネル及びパンフレットを区内のコミュニティセンターや、人が多く集まるイベント等で展示・配布することで、普段は潟に触れる機会の少ない方にもラムサール条約について知ってもらう機会となった。</p> <p>③ 北区ふゆっこまつりでのPRブース出展 (中止)          子どもにとって親しみやすい缶バッジ作成体験ブースとすることで、親子連れなど、普段はラムサール条約に関心を持ってもらうことが難しい年代にも、ラムサール条約について考えてもらう機会となるよう工夫した。</p>																								
<p>備考</p>																									

## 区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	子どもと音楽の出会い創出事業 【事業費予算 2,000千円】
事業目的・概要	区内小学生を招待し、音響の優れた北区文化会館ホールにてプロの演奏家によるコンサートを開催することで、質の高い音楽との出会いの場を提供し、次世代を担う子どもたちの感性を育み人材育成を図る。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>「コンサートホールによろこそ」</p> <p>日 時 9月11日(水) 午前の部:10時開演、午後の部:14時開演 場 所 北区文化会館 ホール 参加者 区内小学6年生全員 延べ694人(教員、自治協議会委員含む) ※午前と午後の部に分け、無料招待 出演者 大谷康子さん(ヴァイオリン)、小山さゆりさん(ピアノ)</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価 など)</small>	<p>&lt;アンケート結果&gt; 回答数 677人(回答率:97.6%) ○回答者の75.6%が「今回のようなコンサートがあったら、また聴きたい」と回答。 ○主な感想 「初めて生でヴァイオリンを聴いた。すごく楽しかった。」 「普段、音楽を聴く機会が少ないので、こういう体験ができて嬉しかった。」 「他の学校の人と友達になれて楽しかった。」 「プロの演奏を聴いたのは初めてだったので、いい体験になった。」 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北区文化会館と連携し、音響の優れた同館ホールでプロの演奏家によるコンサートを開催することで、子供たちが質の高い音楽に触れ、体感できる機会を提供できた。</li> <li>・親しみのある曲を演奏したり、みんなでビリーブを合唱したりなど、音楽を身近なものとして感じ、最後まで飽きずに楽しむことのできるコンサートとなった。</li> <li>・児童一人ひとりにチケットを渡し、入場の際にはもぎりをを行い、チケットに印字の席を自分で探すなど、実際のコンサートに近い環境を体験してもらうことができた。</li> </ul>
備考	